

誕生石の鉱物科学

— 9月 ブルー・サファイア —

奥山康子¹⁾

前回8月号は、いきなり月の誕生石ペリドットから話を始めましたが、そも、誕生石とはなんなのでしょう。「誕生石 birthstone」とは、生まれた月にあてて定められた宝石を指します。始まりは、18世紀ごろのヨーロッパで経済的な実権を握っていたユダヤ人コミュニティーにて、花嫁となる女性に生まれ月にちなんだ宝石の婚約指輪を贈っていたことにあるとされます。さらにこの慣習のルーツは古く、新約聖書に記述された「エルサレムの城壁を飾った12種類の宝石」にちなむ、また、旧約聖書「出エジプト記」に登場のイスラエルの司祭が身につけた12の宝石に由来する、いやいや、キリスト教以前のヨーロッパの人々の間の俗信によるなど、さまざまです (Manutchehr-Danai, 2000)。

誕生石はこうした伝統を背景にし、現在広く知られるスタイルにて統一的に決定・公表されたのは、1912年8月にアメリカのカンザス・シティで開催された米国宝石組合大会が初めてとされます。近代的誕生石は、商業主義の産物といえるわけです。

日本でも1958年に、全国宝石商卸業組合が決定・公表しています。この年は、日本と連合国側との講和条約が発効して6年後、そして朝鮮戦争終結から3年後に当たります。日本は法的な敗戦処理を終え、高度経済成長を目前にしていました。

世界主要国の「誕生石」を、第1表に並べました。表に見るように、誕生石は必ずしも各月1種類ずつというわけではありません。制定第1号のアメリカでさえ、第1順位の宝石、つまり表の各月の上段にあげる宝石が高価な場合など、代りに使える第2順位の石を認めています。第1順位の石はどの国でもほぼ同じですが、第2順位の石は国によって微妙に違ってきます。しかしその選び方からは、月ごとのイメージ・カラーが存在することがうかがえます。

1月ガーネット(赤)、2月アメシスト(紫)には第2順位の石はなく、ひと月飛ばして4月ダイヤモンドは無色透明、5月エメラルドは緑と続き、このあたりから第2順位の石を置く例が増えていきます。ここで第1順位と

第2順位の石を比較すると、4月のダイヤモンドに対しいくつかの国で水晶が、5月エメラルドに対してはヨーロッパ圏でアップル・グリーン(玉髄)であるクリソプレースが、6月真珠に対しては同じく乳白色のムーンストーンが選ばれています。さらに11月トパズに対してアメリカはシトリン(赤みを帯びた黄色・透明の石英)を、また12月のトルコ石に対しては水色のジルコンを選び、共

第1表 国ごとに、またディーラーごとに微妙に違う誕生石。
*印を付した石は、1970年代以降の宝石。

	アメリカ	イギリス	オーストラリア	フランス	日本	日本A社	日本B社
1月	ガーネット	ガーネット	ガーネット	ガーネット	ガーネット	ガーネット	ガーネット
2月	アメシスト	アメシスト	アメシスト	アメシスト	アメシスト	アメシスト	アメシスト
3月	アクアマリン ブラッドストーン	アクアマリン ブラッドストーン	アクアマリン ブラッドストーン	アクアマリン ブラッドストーン	アクアマリン サンゴ	アクアマリン	アクアマリン
4月	ダイヤモンド	ダイヤモンド 水晶	ダイヤモンド	ダイヤモンド 水晶	ダイヤモンド 水晶	ダイヤモンド	ダイヤモンド
5月	エメラルド	エメラルド クリソプレース	エメラルド クリソプレース	エメラルド クリソプレース	エメラルド 翡翠	エメラルド	エメラルド 翡翠
6月	真珠 ムーンストーン	真珠 ムーンストーン	真珠	真珠 初石・カドニ	真珠 ムーンストーン	真珠 ムーンストーン	真珠 ムーンストーン
7月	ルビー アレキサンドライト	ルビー カーネリアン	ルビー	ルビー カーネリアン	ルビー	ルビー	ルビー
8月	ペリドット サードニクス	ペリドット サードニクス	ペリドット サードニクス	ペリドット サードニクス	ペリドット サードニクス	ペリドット	ペリドット
9月	ブルー・サファイア	ブルー・サファイア ラピスラズリ	ブルー・サファイア ラピスラズリ	ブルー・サファイア ラピスラズリ	ブルー・サファイア	ブルー・サファイア	ブルー・サファイア
10月	オパール ピンク・トルマリン	オパール	オパール	オパール	オパール ピンク・トルマリン	オパール ピンク・トルマリン	オパール ピンク・トルマリン
11月	トパズ シトリン	トパズ	トパズ	トパズ	トパズ シトリン	(ブルー) トパズ*	(ブルー) トパズ*
12月	トルコ石 ジルコン	トルコ石	トルコ石	トルコ石 くじやく石	トルコ石、ラピスラズリ、カドニ*	トルコ石 タンザナイト*	タンザナイト*

1) 産総研 地圏資源環境研究部門

キーワード：宝石、誕生石、商業主義、ブルー・サファイア、コランダム、他色



第1図 上質のブルー・サファイアのカット・ストーン。
スリ・ランカ産。オーバル・ブリリアントカット, 0.79
カラット。

通する色の石を置く傾向が認められます。ジルコンの中には、還元雰囲気のもとで加熱処理すると目覚めるような水色になるものがあるのです。今月9月の第1順位誕生石ブルー・サファイアに対して、ヨーロッパ圏がラピスラズリ（和名：瑠璃，ただし厳密には単一の鉱物ではない）を取り合わせるのも、理解できますね。

もっともアメリカ式でも、3月（水色のアクアマリンと雑色のブラッドストーン）、8月（緑のペリドットに対しサードニクスすなわち紅縞メノウ）、そして10月（オパールとピンク・トルマリン）の取り合わせでは、月のイメージ・カラーという考え方が揺らいでいます。このあたりに商業主義の片鱗を見るといっては、意地悪でしょうか？

日本の誕生石（青木，2007）はおおよそアメリカに倣っていますが（第1表）、日本ならではの国柄も認められます。たとえば3月には、「サンゴ」が選ばれ、特に、やさしいピンク色の桃色サンゴが好まれると言われます。まさに弥生のイメージですね。また5月の誕生石には、エメラルドに合わせて翡翠も採用されています。翡翠は、ビルマに上質品の大産地がある東洋の宝石。のみならず、日本でも新潟県糸魚川市に宝石級の物を産します。3月、5月とも国情によくあったセレクションではないでしょうか。

日本ではさらに、宝石業者ごとにオススメの誕生石を定めるケースもあるようです。第1表には、量販系のA社のホームページにある誕生石と、同じく金属資源系会社の派生ビジネスであるB社のカタログ掲載の誕生石も並べました。3種類の日本版誕生石に共通するのは、11月・12月に1970年代以降に宝石界にデビューした新しい石を採用している点です。特に11月は、トパズとはいえ人工処理品であるブルー・トパズを、ホームページあるいはカタログにズラりと並べています。あーあと、思わずため息。

それぞれの石をめぐる話は、各月の号に譲るとして、さて、第1表には全部で何種類の宝石が登場しているのでしょうか？

色指定がある場合は別の宝石として数えると、何と全部で30種類です！連載「誕生石の鉱物科学」は、月刊「GSJ地質ニュース」に1回ごとに2ページの記事とする予定ですが、著者と編集上の両方の都合でお休みする月もあるはずなので、例えばアメシストと無色の水晶の解説をまとめるなど工夫しても… あっ、ペリドットは前号で終わってなくて来年の宿題になっていたっけ！こんな調子では、私の在職中にこの連載を終えることができるだろうか…。

悩んでいてもしょうがないので、今回は今月の誕生石ブルー・サファイアの姿をお目にかけて、締めくりたいと思います（第1-2図）。ブルー・サファイアは、青色の宝石質コランダム Al_2O_3 のことです。サファイアとは、ルビーを除いたあらゆる色の宝石質コランダムの総称で、ブルー・サファイアはいわばサファイア族の代表格です。青の発色は、不純物微量成分である2価鉄とチタンのコラボレーションによります。この主成分以外の元素による発色機構を、「他色」と呼びます。「自色」らしいペリドットの次の月に他色の美による宝石とは、味のある配置ではないでしょうか。



第2図 ブルー・サファイアの結晶。マダガスカル産。
中央の個体のような六角板状ないしは、中途が膨れ気味の短柱状の結晶になる。六回対称軸をもつ六方晶系ではなく、一段対称性の低い三方晶系であることが、左上の個体の形から分かる（この個体の径が約1.5 cm）。本品は色が淡すぎ、傷等のために透明度が低く、宝石質ではない。

文献

- 青木貴彦（2007）宝石選びの基礎知識。PHP 研究所，東京，111p。
Manutchehr-Danai, M. (2000) *Dictionary of gems and gemology*. Springer-Verlag, Berlin, 565p.

OKUYAMA Yasuko (2012) Mineralogical science of birthstones — September Blue sapphire —.

（受付：2012年7月17日）